

13.【昼夜間人口比】 広域的吸引力を持つのは大都市圏中心部だけでない

5年に一度の国勢調査では、全ての人の居住地とともに通勤通学の流動状況も調べられます。通常の「人口」は居住地によるもので、これは「夜間人口」とも呼ばれます。ある自治体範囲の「夜間人口」から通勤通学による他への「流出」を差し引き、他からの「流入」を加えたものを「昼間人口」と言います。夜のお仕事の方もいるでしょうが、便宜上そう呼びます。その自治体範囲で活動している人の数ということができ、地域経済社会の活力はむしろ昼間人口が担っているとも考えられます。

昼間人口を分子、夜間人口を分母にして割り算した値を「昼夜間人口比」と言い、この値が1（100%）より大きければ周囲から人を吸引する力の方が強く、広域的な中で経済社会的な拠点性が強いと見ることができます。逆に1（100%）より小さい場合は他への流出の方が多いわけで、象徴的な言い方をすれば「ベッドタウン」的な性格が強いということになります。

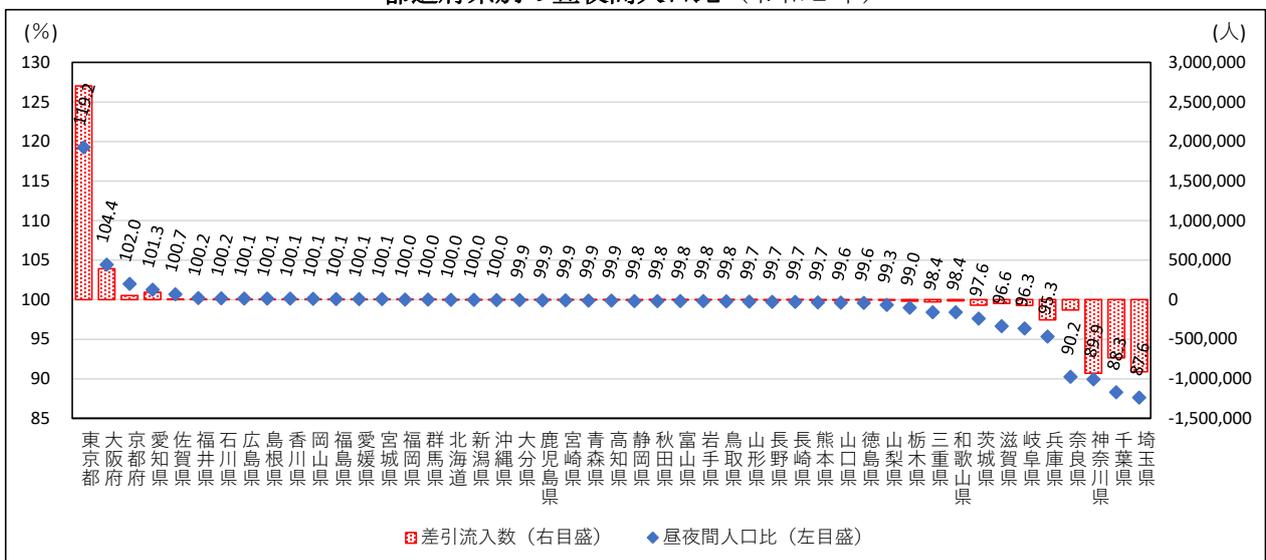
このように、広域拠点性を示す有力指標である「昼夜間人口比」について、都道府県、市区町村別のランキングを、令和2年国勢調査により見てみましょう。なお、同じ昼夜間人口比でも夜間人口の大小により流入数の数は違ってくるので、以下では、流入者数から流出者数を差し引いた「差引流入者数」（夜間人口に対して昼間にどれだけ人が増減しているか）を併せて示すことにします。

☞東京都の昼間人口は夜間の2割増し、埼玉・千葉・神奈川は1割以上減

都道府県は、経済圏、生活圏としてまとまった単位であることが多く、通勤や通学で都道府県の境を跨ぐ移動をする人は一般に少ないので、都道府県の昼夜間人口比はほとんど1（100%）に近いことが多いのですが、首都圏、関西圏、中京圏などでは都道府県境を跨いだ遠距離通勤・通学者も多く、特異な値となって現れます。

下図に見るように、東京都、大阪府、京都府、愛知県などが昼夜間人口比100%以上で目立っており、逆に、その周辺県である埼玉、千葉、神奈川、奈良、兵庫、岐阜、滋賀などの各県が100%以下で目立つところ。東京都の昼間人口は夜間人口の約1.2倍（250万人以上の流入超過）、埼玉県では逆に昼間人口が夜間人口に比べ1割以上少ない（100万人近い流出超過）ことになります。

都道府県別の昼夜間人口比（令和2年）



資料：国勢調査

☞人の流入超過が顕著なのは大都市圏中心部のほか、大規模工場等の立地町村でも

次に、市区町村別の昼夜間人口比の上位・下位 50 ずつを下表に示します。政令指定都市も行政区単位としており、また、福島県双葉郡内 8 町村と飯館村は東日本大震災・原子力発電所事故の影響による特殊事情から対象外とし、比較対象は 1,887 市区町村となります。

市区町村別の昼夜間人口比（令和 2 年）

[上位 50]

[下位 50]

順位	(県)	市区町村名	昼夜間人口比 (%)	夜間人口 (人)	差引流入者数 (人)
1	東京	千代田区	1753.7	66,680	1,102,719
2	大阪	大阪市中央区	516.6	103,726	432,108
3	東京	中央区	456.1	169,179	602,404
4	東京	港区	453.7	260,486	921,323
5	大阪	大阪市北区	349.5	139,376	347,747
6	愛知	名古屋市中区	348.2	93,100	231,056
7	愛知	飛島村	322.0	4,575	10,156
8	東京	渋谷区	259.7	243,883	389,569
9	東京	新宿区	258.6	349,385	554,071
10	栃木	芳賀町	225.6	14,961	18,797
11	神奈川	横浜市西区	210.4	104,935	115,882
12	兵庫	神戸市中央区	209.1	147,518	160,957
13	京都	久御山町	206.6	15,250	16,249
14	宮城	大衡村	192.6	5,849	5,418
15	愛知	名古屋市中村区	183.9	138,599	116,322
16	大阪	大阪市西区	179.7	105,862	84,398
17	青森	六ヶ所村	177.2	10,367	8,000
18	千葉	芝山市	172.5	7,033	5,099
19	京都	京都市下京区	172.1	82,784	59,663
20	北海道	札幌市中央区	169.9	248,680	173,713
21	福岡	福岡市博多区	169.0	252,034	173,897
22	神奈川	横浜市中区	168.7	151,388	104,015
23	広島	広島市中区	168.6	142,699	97,867
24	北海道	泊村	164.2	1,569	1,008
25	東京	文京区	161.3	240,069	147,059
26	神奈川	箱根町	161.1	11,293	6,899
27	茨城	五霞町	158.4	8,093	4,725
28	愛知	名古屋市中区	157.9	84,392	48,865
29	滋賀	竜王町	156.6	11,789	6,668
30	福岡	福岡市中央区	156.1	205,501	115,354
31	大阪	大阪市天王寺区	153.9	82,148	44,275
32	東京	台東区	152.5	211,444	110,994
33	京都	京都市東山区	152.0	36,602	19,027
34	東京	品川区	147.6	422,488	200,994
35	京都	京都市中京区	145.6	110,488	50,372
36	愛知	大口町	145.3	24,305	11,001
37	埼玉	さいたま市大宮区	144.3	117,784	52,182
38	福岡	久山町	141.4	9,068	3,751
39	東京	豊島区	141.1	301,599	124,047
40	福岡	宮若市	140.6	26,298	10,689
41	京都	京都市南区	139.9	101,970	40,699
42	沖縄	恩納村	137.4	10,869	4,066
43	大阪	大阪市浪速区	137.3	75,504	28,129
44	神奈川	中井町	136.2	9,300	3,365
45	福島	磐梯町	136.0	3,322	1,197
46	愛知	名古屋市熱田区	135.2	66,957	23,560
47	宮城	仙台市青葉区	135.1	311,590	109,326
48	愛知	豊山町	134.2	15,613	5,334
49	新潟	聖籠町	133.6	14,259	4,791
50	大阪	大阪市此花区	132.6	65,251	21,267
.

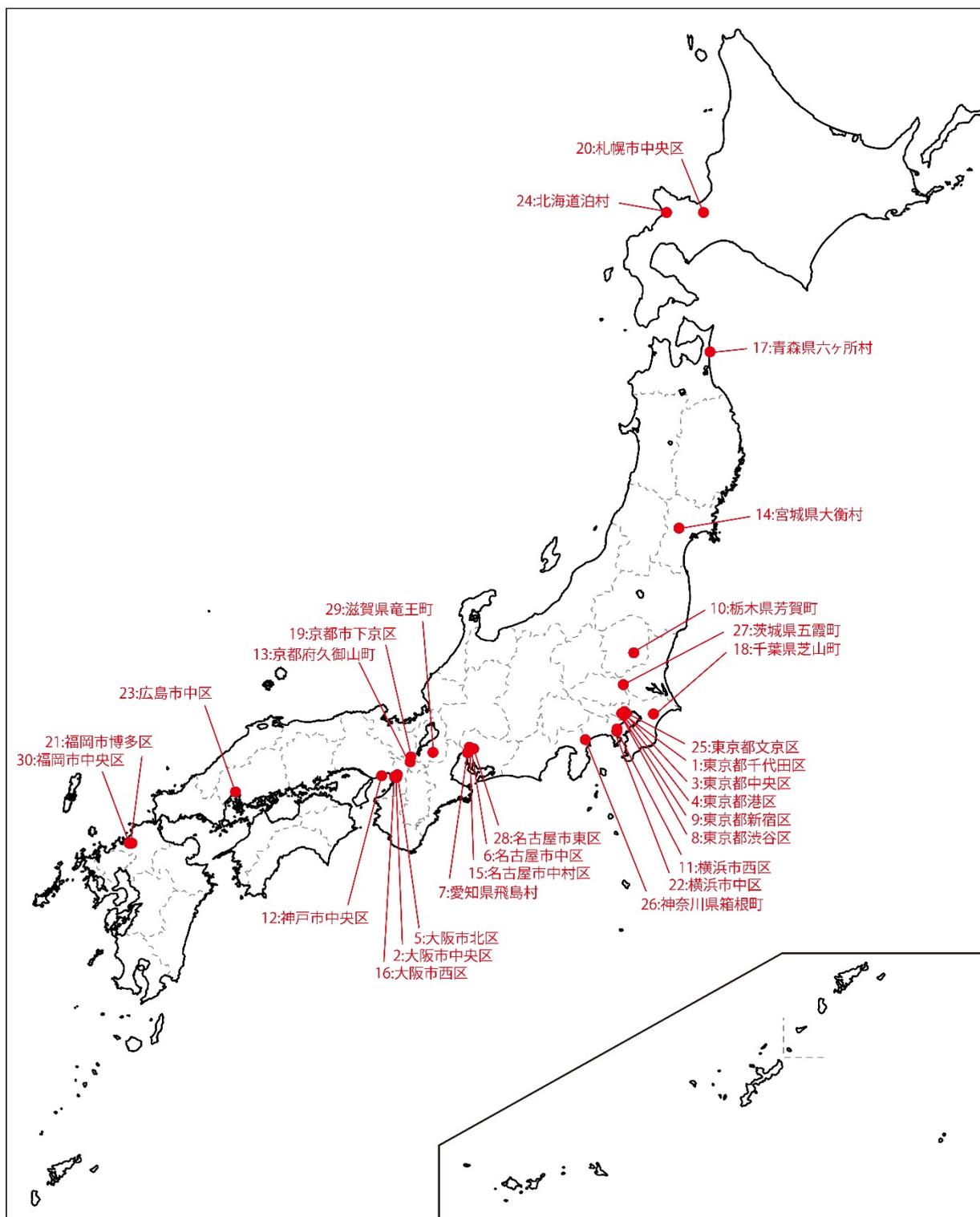
順位	(県)	市区町村名	昼夜間人口比 (%)	夜間人口 (人)	差引流入者数 (人)
.
.
1838	埼玉	蕨市	76.8	74,283	-17,202
1839	埼玉	松伏町	76.7	28,266	-6,575
1840	埼玉	志木市	76.6	75,346	-17,620
1841	神奈川	横浜市青葉区	76.6	310,756	-72,809
1842	神奈川	横浜市泉区	76.5	152,378	-35,741
1843	愛知	岩倉市	76.5	47,983	-11,287
1844	山梨	甲斐市	76.3	75,313	-17,825
1845	神奈川	川崎市高津区	76.3	234,328	-55,542
1846	茨城	城里町	76.2	18,097	-4,301
1847	長崎	長与町	76.2	40,780	-9,703
1848	愛知	名古屋市緑区	76.1	248,802	-59,343
1849	東京	杉並区	76.1	591,108	-141,100
1850	愛知	知多市	76.0	84,364	-20,285
1851	奈良	斑鳩町	75.9	27,587	-6,640
1852	東京	西東京市	75.9	207,388	-49,951
1853	長野	松川村	75.9	9,599	-2,315
1854	大阪	太子町	75.9	13,009	-3,141
1855	千葉	鎌ヶ谷市	75.8	109,932	-26,555
1856	神奈川	真鶴町	75.7	6,722	-1,635
1857	兵庫	神戸市垂水区	75.6	215,302	-52,603
1858	神奈川	葉山町	75.3	31,665	-7,807
1859	千葉	市川市	75.3	496,676	-122,913
1860	千葉	栄町	75.0	20,127	-5,025
1861	群馬	吉岡町	75.0	21,792	-5,441
1862	山梨	西桂町	75.0	4,041	-1,010
1863	石川	津幡町	74.9	36,957	-9,278
1864	千葉	流山市	74.9	199,849	-50,235
1865	奈良	香芝市	74.8	78,113	-19,723
1866	千葉	千葉市花見川区	74.7	177,328	-44,812
1867	青森	階上町	74.7	13,496	-3,414
1868	奈良	平群町	74.7	18,009	-4,561
1869	東京	江戸川区	74.5	697,932	-178,108
1870	神奈川	二宮町	74.3	27,564	-7,071
1871	茨城	利根町	74.3	15,340	-3,938
1872	神奈川	横浜市南区	74.0	198,157	-51,619
1873	石川	内灘町	73.4	26,574	-7,059
1874	山形	山辺町	73.3	13,725	-3,662
1875	千葉	大網白里市	73.1	48,129	-12,965
1876	和歌山	日高町	73.0	7,673	-2,070
1877	山形	中山町	73.0	10,746	-2,904
1878	大阪	豊能町	72.5	18,279	-5,033
1879	東京	練馬区	72.2	752,608	-209,125
1880	神奈川	川崎市多摩区	72.0	221,734	-62,062
1881	富山	舟橋村	71.5	3,132	-892
1882	埼玉	さいたま市南区	70.5	191,563	-56,533
1883	愛知	大治町	69.9	32,399	-9,737
1884	埼玉	富士見市	68.9	111,859	-34,747
1885	神奈川	川崎市宮前区	68.2	233,728	-74,210
1886	東京	狛江市	67.7	84,772	-27,365
1887	宮城	七ヶ浜町	66.2	18,132	-6,126

資料：国勢調査

ダントツの 1 位は東京都千代田区でその値は 1,754%（110 万人以上の流入超過）です。分母の夜間人口が少ないこともあって、昼間はその 17.5 倍の人が区内にひしめいていることとなります。日本の経済や政治の中心地であることを如実に示しています。

これを含め、上位 30 位までの市区町村の位置を下のマップに示します。

「昼夜間人口比」上位の市区町村マップ（1～30 位まで）（令和 2 年）



資料：国勢調査

東京、大阪、名古屋、京都、神戸、福岡、札幌、広島といった大都市の中心部の区が上位に含まれるのは頷けますが、上位陣の中に、それら大都市圏から離れた町村が含まれることが意外と思われるかもしれません。これは、分母の夜間人口が少ないところに多数の従業者を擁する産業拠点や施設等がある場合で、外からの通勤者の多さが昼夜間人口比の値を押し上げているのです。

7位の愛知県飛島村は、夜間人口が5,000人に満たない村ですが、名古屋市に隣接し臨海型の大規模倉庫や工場が多数立地しているところで、昼間人口は3倍以上に膨れ上がります。栃木県芳賀町(10位)は隣接の宇都宮市への通勤者も多いのですが、ホンダの大規模工場などもある芳賀工業団地、芳賀・高根沢工業団地への通勤流入者がそれ以上に多く、昼間人口が夜間人口の2倍以上となります。

同様に、宮城県大衡村(14位)はトヨタ系の一大生産拠点工場、青森県六ヶ所村(17位)は核燃料サイクル施設、北海道泊村(24位)は原子力発電所があり、京都府久御山町(13位)や千葉県芝山町(18位)、茨城県五霞町(27位)も町内に高速道路ICや空港等の存在を活かした大規模な工業団地を複数持ち、有力企業が多く立地しています。これらの町村は概して財政力が豊かです。

逆に、昼夜間人口比が最も低い宮城県七ヶ浜町(66.2%)をはじめ東京都狛江市、川崎市宮前区、埼玉県富士見市などは昼間人口が夜間人口の7割以下という典型的なベッドタウンといえます。仙台市や東京都心部等の強大な吸引力に対し、自らの吸引力が微弱ということです。

因みに、東京23区でも昼夜間人口比が1(100%)以上なのは下表のように約半数の12区であり、千代田・中央・港の都心3区のほか概ね山手線沿線より東、荒川より西の区に限られます。これを取り巻く他の11区はいずれも1以下の値で、練馬区、江戸川区、杉並区、葛飾区などは昼間人口が夜間人口の3/4程度というベッドタウン的性格が強い状況です。

また、同様に、地方中枢・中核都市の代名詞ともいえる政令指定都市でも、20市のうち8市は昼夜間人口比(各区計)が1(100%)以下で、最も低い川崎市の値は83.6%、25万人超の流出超過です。なお、東京各区の値は上述のとおりですが、それらを束ねた23区計(特別区部)の値は132.2となり、これは大阪市の値よりわずかに低いのが注目されます。

東京23区の昼夜間人口比(高い順)
(令和2年)

順位	市区町村名	昼夜間人口比(%)	夜間人口(人)	差引流入者数(人)
1	千代田区	1753.7	66,680	1,102,719
2	中央区	456.1	169,179	602,404
3	港区	453.7	260,486	921,323
4	渋谷区	259.7	243,883	389,569
5	新宿区	258.6	349,385	554,071
6	文京区	161.3	240,069	147,059
7	台東区	152.5	211,444	110,994
8	品川区	147.6	422,488	200,994
9	豊島区	141.1	301,599	124,047
10	江東区	126.6	524,310	139,495
11	墨田区	103.1	272,085	8,355
12	目黒区	101.6	288,088	4,636
13	大田区	94.0	748,081	-44,655
14	北区	88.7	355,213	-40,141
15	中野区	86.6	344,880	-46,169
16	世田谷区	85.3	943,664	-138,834
17	荒川区	83.9	217,475	-35,117
18	板橋区	82.3	584,483	-103,526
19	足立区	81.5	695,043	-128,766
20	葛飾区	77.2	453,093	-103,228
21	杉並区	76.1	591,108	-141,100
22	江戸川区	74.5	697,932	-178,108
23	練馬区	72.2	752,608	-209,125

政令指定都市(東京区部を含む)の
昼夜間人口比(高い順)(令和2年)

順位	(県)	市区町村名	昼夜間人口比(%)	夜間人口(人)	差引流入者数(人)
1	大阪	大阪市	132.5	2,752,412	893,509
2	東京	特別区部	132.2	9,733,276	3,136,897
3	愛知	名古屋市	111.9	2,332,176	277,569
4	福岡	福岡市	109.8	1,612,392	157,251
5	京都	京都市	109.0	1,463,723	131,207
6	宮城	仙台市	105.3	1,096,704	57,882
7	岡山	岡山市	103.1	724,691	22,590
8	静岡	静岡市	102.9	693,389	20,356
9	兵庫	神戸市	102.5	1,525,152	38,855
10	福岡	北九州市	102.1	939,029	20,117
11	新潟	新潟市	101.2	789,275	9,204
12	広島	広島市	101.0	1,200,754	12,350
13	熊本	熊本市	101.0	738,865	7,250
14	北海道	札幌市	99.7	1,973,395	-5,057
15	静岡	浜松市	99.3	790,718	-5,834
16	千葉	千葉市	97.1	974,951	-28,341
17	大阪	堺市	93.3	826,161	-55,614
18	神奈川	横浜市	91.1	3,777,491	-337,421
19	埼玉	さいたま市	90.9	1,324,025	-119,945
20	神奈川	相模原市	86.2	725,493	-100,466
21	神奈川	川崎市	83.6	1,538,262	-252,977

資料：国勢調査

昼夜間人口比が高い市区町村は、そこで働く、学ぶなど活動する人の数が夜間人口以上に多いことで、そこから派生するビジネス、経済活動も盛んになって広域的な拠点性も高まるという好循環が期待されるようです。ただ、大都市圏中心部以外では、工場等で働く人の集積はあっても商業等の集

積力はそれほどでもなく、経済全般の広域的拠点には必ずしもなり得ていないところが多いように見えます。

☞ 昼夜間人口比が高いところへの流入先は広範囲にわたる

国勢調査では、人の市区町村間通勤通学流動における流入先・流出先の状況もわかります。ここで、昼夜間人口比がトップの東京都千代田区と、村ながら7位に食い込んでいる愛知県飛島村について、通勤通学による流入者数の流入相手先の上位市区町村名とそこからの流入数を下表に示します。

昼夜間人口比が同じ上位でも人口規模の相違から流入者数は桁が違いますが、いずれも隣接地だけでなく都県境を超えて遠方からも人を集めていることがわかります。

因みに、東京23区以外で千代田区に最も多くの通勤通学者を送り込んでいるのは千葉県市川市、次いで船橋市です。飛島村では、流入者数11,629人のうち名古屋市からの流入者が4,295人と37%を占めており、小さな村ながら名古屋市の隣にあって絶大な存在感を示しています。

このように、昼夜間人口比が高い市区町村は、その周囲からの通勤通学による人の流入により相対的な影響力を有しており、特に大都市圏中心部以外の市町村ではその力をバランス良い形で活かしつつ、広域的拠点性の向上につなげていくことが期待されます。

東京都千代田区への流入先市区町村別
流入者数(相手先上位30)(令和2年)

流入元		流入者数 (人)
(県)	市区町村名	
東京都	世田谷区	37,084
東京都	江東区	27,409
東京都	江戸川区	26,419
東京都	杉並区	26,381
東京都	練馬区	25,086
東京都	足立区	21,102
東京都	板橋区	20,832
千葉県	市川市	20,615
東京都	大田区	19,283
東京都	文京区	19,119
千葉県	船橋市	18,733
東京都	葛飾区	15,631
東京都	新宿区	15,422
埼玉県	川口市	15,406
東京都	北区	15,315
東京都	品川区	15,189
千葉県	松戸市	14,559
東京都	中野区	13,689
東京都	墨田区	12,802
東京都	豊島区	12,776
東京都	中央区	12,393
東京都	目黒区	11,013
東京都	港区	10,805
千葉県	柏市	10,716
東京都	台東区	9,875
東京都	荒川区	9,560
神奈川県	横浜市青葉区	9,140
東京都	渋谷区	9,037
神奈川県	横浜市港北区	8,368
神奈川県	川崎市中原区	8,215

愛知県飛島村への流入先市区町村別
流入者数(相手先上位30)(令和2年)

流入元		流入者数 (人)
(県)	市区町村名	
愛知県	名古屋市港区	1,648
愛知県	名古屋市中川区	1,121
愛知県	弥富市	1,017
愛知県	蟹江町	648
愛知県	愛西市	450
三重県	桑名市	403
愛知県	津島市	376
愛知県	あま市	333
愛知県	名古屋市緑区	300
愛知県	名古屋市南区	268
三重県	木曽岬町	227
愛知県	名古屋市中村区	186
愛知県	稲沢市	165
愛知県	一宮市	159
三重県	四日市市	157
愛知県	名古屋市熱田区	156
愛知県	東海市	133
愛知県	大治町	123
愛知県	清須市	109
愛知県	名古屋市瑞穂区	102
愛知県	名古屋市西区	100
愛知県	名古屋市天白区	91
愛知県	知多市	83
愛知県	春日井市	68
愛知県	名古屋市北区	66
愛知県	豊田市	64
愛知県	大府市	59
愛知県	名古屋市昭和区	58
愛知県	名古屋市中区	54
愛知県	北名古屋市	49

資料：国勢調査